



県内経済 〈5月〉

概況

県内経済は、緩やかに持ち直している

機械金属の生産は弱い動きが続いているものの、電子部品が前年を上回って推移しているほか、木材も前年を上回った。建設は、公共工事が前年を下回ったものの、住宅着工は前年を上回った。個人消費は全体として持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善の動きがみられる。

産業別の動向では、電子部品の生産額は、5G関連製品の需要が堅調に推移しているほか、車載向けも好調を維持し、7か月連続で前年を上回った。機械金属の生産額は、2か月連続で前年を上回ったものの、前月対比では減少しており、弱い動きが続いている。木材の生産量は、普通合板（4月）が2か月連続で前年を上回ったほか、製材品も2か月連続で前年を上回った。公共工事請負額は、2か月連続で前年を下回り、年度累計でも前年を下回っている。地元大手（12社）の建設受注額は、民間工事で大口受注があり、4か月連続で前年を上回っ

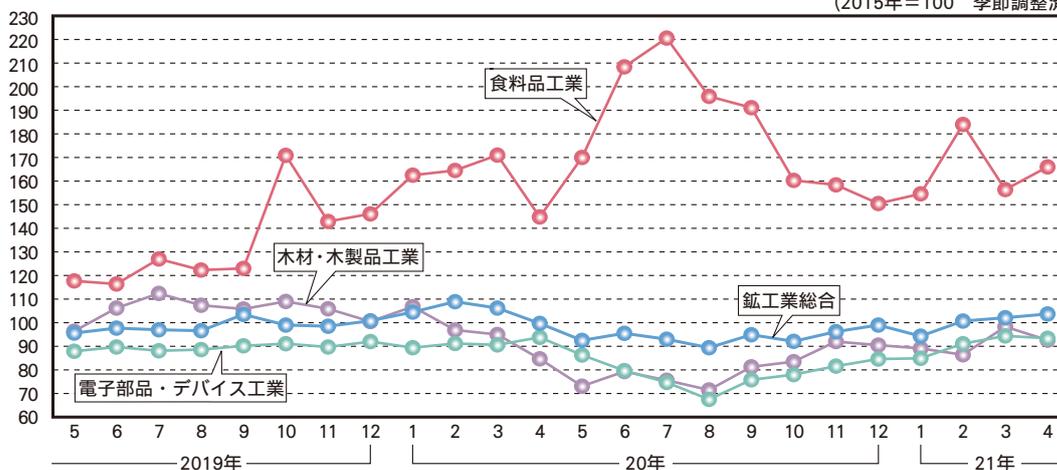
た。住宅着工は、分譲住宅でマンション着工があり、2か月ぶりに前年を上回った。個人消費は、小売店販売額（4月）が2か月連続で前年を上回ったほか、新車乗用車販売台数も3か月連続で前年を上回り、全体として持ち直しの動きとなっている。

有効求人倍率は前月比0.13ポイント上昇の1.48倍となった。新規求人数は前年比23.6%増となり、4か月連続で前年を上回った。事業主都合離職者数は前年比61.2%減となり、2か月連続で前年を下回った。

企業倒産件数は3件、負債総額は3億4,100万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移

(2015年=100 季節調整済)



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

電子部品

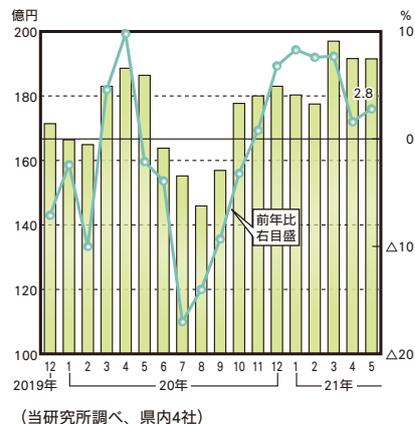
生産額、7か月連続で前年比増加

5月の生産額は前年比2.8%増となり、7か月連続で前年実績を上回った。

スマートフォン向けの増勢が続いており、タブレット端末やゲーム機などその他5G関連の製品も拡大傾向にある。車載向けも電気自動車（EV）向け部品の増加や、世界的な半導体不足を受けて需要が高まっている。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルは増加傾向にあり、長らく低迷が続いていた半導体素子も回復の兆しがみられるものの、産業向け液晶パネルは大幅減が続いている。

電子部品の生産額推移



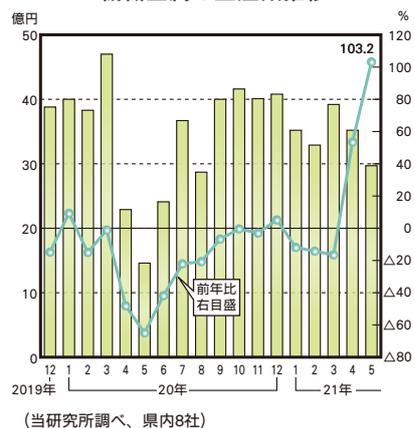
機械金属

生産額、前年比大幅増も金額は2か月連続で減少

5月の生産額は前年比103.2%増と大幅に増加したものの、昨年5月に新型コロナウイルス感染拡大の影響で世界的に自動車販売台数が過去最低水準まで落ち込んだことの反動であり、金額的には2か月連続で減少した。

ウエイトの高い輸送機械は、半導体不足により減産しているメーカーがあることから減少が続いている。その他民需関連では、製鋼品は減少傾向にあり、建機部品も大幅減が続いている。金型は一進一退の動きとなっている。公共工事関連では、水道部品は堅調なもの、橋梁・鉄骨は減少に歯止めがかかっていない。

機械金属の生産額推移



木材業

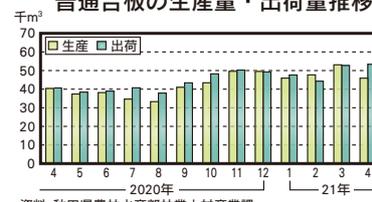
普通合板、製材品とも生産・出荷増続く

全国的に、新設住宅着工戸数は前年落ち込みの反動から増加傾向にあるとはいえコロナ前水準を下回るが、輸入材の入荷量激減と価格急騰（「ウッドショック」）から需給が逼迫、県内でも普通合板、製材品とも生産、出荷は増勢を強めている。

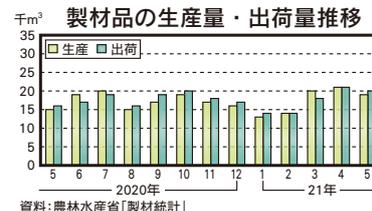
4月の普通合板は、生産量が前年比13.7%増と2か月連続で増加し、出荷量も同31.3%増と3か月連続で前年を上回った。在庫量は、同61.3%減と9か月連続で減少した。

5月の製材品は、生産量が前年比26.7%増、出荷量も同25.0%増といずれも2か月連続で前年を上回り、伸び率も拡大した。在庫量は同4.6%減と3か月連続で前年を下回った。

普通合板の生産量・出荷量推移



製材品の生産量・出荷量推移

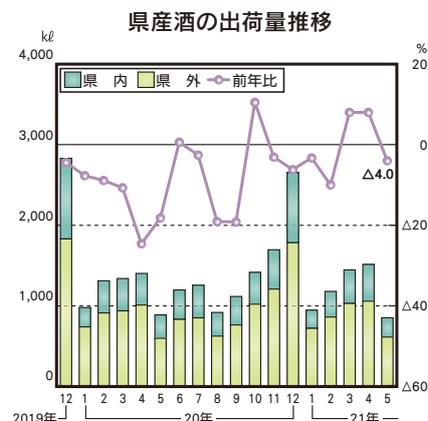


酒造業

出荷量、3か月ぶりに前年比減少

5月の清酒出荷量は、前年比4.0%減と3か月ぶりに前年を下回った。出荷先別では、県外向けは前年同月に緊急事態宣言により落ち込んだ反動から同2.6%増と増加したが、県内向けは新型コロナウイルス感染拡大の影響により業務用需要が縮小し同17.7%減と大幅に減少した。県外の主な出荷先別では、東北5県が同2.4%減となった一方、東京は同1.9%増、北海道も同14.7%増となった。

種類別では、普通酒は前年比7.7%減と前年を下回ったが、特定名称酒が同0.4%増と前年を上回った。特定名称酒の内訳では、純米酒と本醸造酒は減少したが、吟醸酒が増加した。



資料：秋田県酒造組合

建設業

公共工事 国や市町村等が減少し、2か月連続で前年比減少

5月の公共工事請負金額は、県が増加したものの国や市町村等が減少し、前年比12.8%減と2か月連続で前年を下回り、年度累計実績でも前年同期比8.2%減となった。

一方、当研究所調査による地元大手12社の5月の新規受注額は、前年比84.9%増の3,260百万円と4か月連続で前年を上回った。うち官公庁工事は同5.9%減と前年実績を下回ったものの、民間工事は、食料品製造業等の工場新・増築やJAの多機能型低温倉庫新築等の大口受注があり同475.1%増と大きく伸びた。4月からの年度累計実績でも前年同期比93.9%増となっている。

公共工事前払金保証実績

(単位: 件、百万円、%)

| 区分 | 5月 | 前年比 | 4月~5月 | 前年同期比 |
|------|--------|-------|--------|-------|
| 件数 | 212 | 3.9 | 547 | 7.5 |
| 請負金額 | 10,804 | △12.8 | 39,829 | △8.2 |

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位: 百万円、%)

| 区分 | 5月 | 前年比 | 4月~5月 | 前年同期比 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 官公庁 | 1,345 | △5.9 | 3,593 | 10.1 |
| 民間 | 1,915 | 475.1 | 4,016 | 506.6 |
| 合計 | 3,260 | 84.9 | 7,609 | 93.9 |

(当研究所調べ、県内12社)

金融

預金、貸出金とも前年比増加率鈍化

5月末の県内銀行の預金は、前月末比362億円増加し、前年比でも7.4%の増加となった。貸出金は、前月末比171億円増加し、前年比でも9.9%の増加となった。預金は前年に急伸した反動から、貸出金はコロナ対策の制度融資など資金需要が一服し、ともに伸び率は前月に比べ鈍化した。

5月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は3件(前年比3件増)、負債総額は3億4,100万円となった。倒産件数は、2012年11月以降103か月連続で一桁台または0件で推移している。負債総額は、倒産が発生しなかった前年と比べると増加したものの、金額的には低水準となった。



資料：秋田県銀行協会

住宅着工

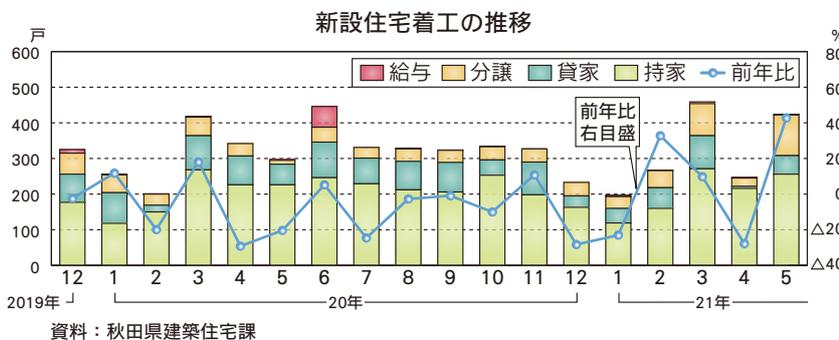
着工戸数、2か月ぶりに前年比増加

5月の県内新設住宅着工戸数は、424戸（前年比127戸増、42.8%増）であった。貸家は減少したものの、分譲住宅が大幅増となったほか、持家も増加し、2か月ぶりに前年を上回った。

利用関係別では、持家が256戸（前年比30戸増）、貸家が52戸（同6戸減）、分譲住宅114戸（同103戸増）、給与住宅2戸（同横這い）となった。

持家は、2か月ぶりに前年を上回った。貸家は、仙北地域で減少し、3か月連続で前年を下回った。分譲住宅は、戸建が増加したほか、秋田市でマンション着工（83戸）があり、2か月ぶりに前年を上回った。

地域別では、県北と県央は持家、貸家、分譲住宅の着工が増加し、前年を上回った。県南は貸家と給与住宅の着工が減少し、前年を下回った。



住宅着工動向 (単位：戸、%)

| 区分 | 2021年5月 | 前年比 | 21年1～5月 | 前年比 |
|----|---------|------|---------|------|
| 県北 | 63 | 40.0 | 267 | △7.6 |
| 県央 | 264 | 78.4 | 992 | 16.3 |
| 県南 | 97 | △6.7 | 335 | △9.9 |
| 合計 | 424 | 42.8 | 1,594 | 5.3 |

資料：秋田県建築住宅課

個人消費

全体として持ち直しの動き

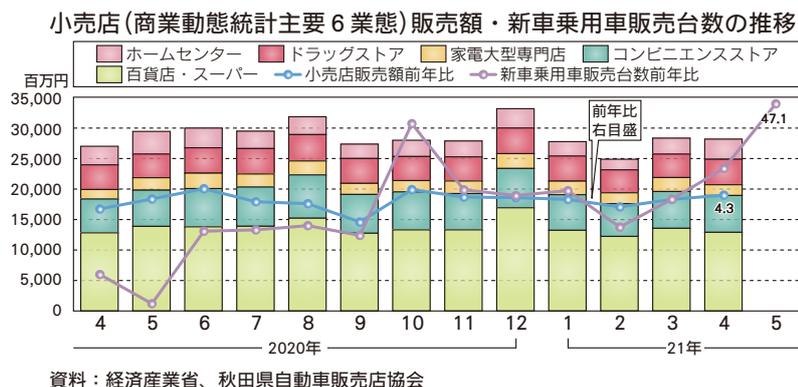
4月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、前年比4.3%増となり、2か月連続で前年を上回った。

内訳をみると、家電大型専門店（同13.2%増）、コンビニエンスストア（同9.0%増）、ホームセンター（同8.5%増）、ドラッグストア（同3.1%増）、百貨店・スーパー（同0.6%増）とすべての業態

で前年を上回った。

5月の新車乗用車販売台数は、前年比47.1%増となり、3か月連続で前年を上回った。

内訳をみると、軽乗用車が同93.6%増と3か月連続で前年を上回ったほか、登録車も同23.0%増と4か月ぶりに前年を上回った。



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

5月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

| 区分 | 販売台数 | 前年比 |
|------------|-------|------|
| 新車乗用車総販売台数 | 2,211 | 47.1 |
| 登録車 | 1,218 | 23.0 |
| 普通車 | 565 | 42.0 |
| 小型車 | 583 | 8.2 |
| 輸入車 | 70 | 32.1 |
| 軽乗用車 | 993 | 93.6 |

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標(前年比) (単位：%)

| 区分 | 2月 | 3月 | 4月 |
|----------|------|-----|-----|
| ①消費者物価指数 | △0.2 | 0.3 | 0.0 |
| ②勤労者名目賃金 | 3.5 | 5.9 | 5.8 |

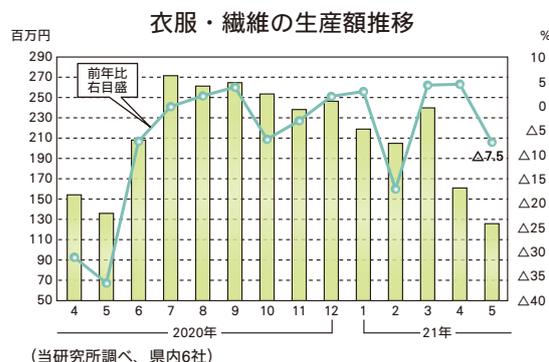
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）
②秋田県（事業所規模5人以上）

衣服・繊維

生産額、3か月ぶりに前年比減少

5月の生産額は、前年比7.5%減となった。新型コロナウイルス感染症拡大による首都圏の百貨店休業等の影響を受け、一般衣料が大きく減少し、3か月ぶりに前年を下回った。

受注は、百貨店休業等による影響や閑散時期などが重なり、前年を下回った。



雇用

有効求人倍率、前月比0.13ポイント上昇の1.48倍

5月の有効求人倍率(季調値)は、前月比0.13ポイント上昇の1.48倍となった。常用の内訳では、一般は同0.12ポイント上昇の1.36倍、パートは同横這いの1.07倍となった。新規求人が前年を上回って推移しており、改善の動きがみられる。

新規求人数は前年比23.6%増となり、4か月連続で前年を上回った。産業別にみると、製造業は同43.6%増となった。「情報通信機械」で減少したものの、受注が増加傾向にある「電気機械器具」、「電子部品・デバイス・電子回路」で大幅に増加したほか、「木材・木製品」、「繊維」でも二桁の増加

率となった。非製造業は同21.9%増となった。「生活関連サービス、娯楽」、「サービス」で大幅に増加したほか、「運輸、郵便」などでも二桁の増加率となった。

新規求職者数は前年比7.1%減と、4か月ぶりに前年を下回った。

事業主都合離職者数は前年比61.2%減と、2か月連続で前年を下回った。

地域別雇用状況(パートを含む常用)をみると、新規求人数は県北、県央、県南でいずれも増加した。有効求人倍率は県北が最も高く1.37倍、県央が1.25倍、県南が1.14倍となった。

業種別・新規求人内訳および新規求職者数(全数)

| 区分 | 2021年4月 | | 5月 | |
|----------------|---------|-------|--------|-------|
| | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 |
| 新規求人計 | 8,575 | 21.3 | 8,018 | 23.6 |
| 製造業 | 818 | 27.6 | 761 | 43.6 |
| 食料品 | 184 | 27.8 | 124 | 8.8 |
| 繊維 | 117 | 37.6 | 120 | 14.3 |
| 木材・木製品 | 45 | 4.7 | 23 | 27.8 |
| 電子部品・デバイス・電子回路 | 114 | 50.0 | 141 | 261.5 |
| 電気機械器具 | 47 | 67.9 | 47 | 291.7 |
| 情報通信機械 | 17 | 240.0 | 1 | △93.8 |
| 非製造業 | 7,757 | 20.6 | 7,257 | 21.9 |
| 建設 | 1,264 | 24.9 | 1,163 | 7.0 |
| 情報通信 | 66 | △7.0 | 38 | 15.2 |
| 運輸、郵便 | 411 | 24.2 | 427 | 25.6 |
| 卸売、小売 | 1,309 | 0.0 | 1,356 | 15.5 |
| 宿泊、飲食サービス | 548 | 11.6 | 623 | 16.7 |
| 生活関連サービス、娯楽 | 301 | 44.0 | 297 | 74.7 |
| 医療、福祉 | 1,758 | 20.2 | 1,542 | 11.5 |
| サービス | 1,243 | 64.9 | 974 | 73.3 |
| 新規求職者数 | 5,641 | 4.0 | 3,515 | △7.1 |
| 有効求職者数 | 18,731 | 8.5 | 17,461 | 5.2 |

(単位:人、%)

資料:秋田労働局職業安定課
(注)臨時・季節を含む

有効求人倍率および事業主都合離職者数

| 区分 | 2021年2月 3月 4月 5月 | | | |
|-----------|------------------|------|-------|-------|
| | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 |
| 有効求人倍率 | 1.26 | 1.24 | 1.24 | 1.36 |
| 常用 | 1.35 | 1.30 | 1.07 | 1.07 |
| パートタイム | 1.31 | 1.33 | 1.35 | 1.48 |
| 全数(季調値) | 1.31 | 1.33 | 1.35 | 1.48 |
| 事業主都合離職者数 | 190 | 243 | 447 | 138 |
| 前年比 | 32.9 | 9.5 | △41.9 | △61.2 |

(単位:倍、人、%)

5月の地域別雇用状況(パートを含む常用)

| 区分 | 新規求人数 | | 有効求人倍率 | |
|----|-------|------|--------|------|
| | 前年比 | 前年比 | 前月比 | 前月比 |
| 県北 | 1,759 | 8.6 | 1.37 | 0.03 |
| 県央 | 3,660 | 24.6 | 1.25 | 0.06 |
| 県南 | 1,732 | 20.3 | 1.14 | 0.10 |
| 合計 | 7,151 | 19.2 | 1.24 | 0.06 |

(単位:人、%、倍、ポイント)

(注)臨時・季節を除く